

1 リッパ－ハイデ 『リッパ－ハイデ服装図書館蔵書目録』 全2巻

Lipperheide, Franz Joseph Freiherr von. Katalog der Freiherrlich von Lipperheide' sehen Kostümbibliothek. 2 vols. (Berlin, F. Lipperheide 1896-1905) Reprinted by Hacker Art Books, New York, 1963. 28.6 × 22.3cm <383. 103-K-1~2>
Hiler p. 547 Colas 1880

服飾関係の最も権威ある書誌として現在でも活用されているのが、このリッパ－ハイデ服装図書館の目録である。とりわけ、古版本については記述が詳細で、のちに出版される Colas<383. 103-C>, Hiler<383. 103-H>の目録等の典拠資料にもなっている。図書館で利用される代表的なビブリオグラフィ Winchel や Wolford の『Guide to reference book』にも costume の項のトップに本書が挙げられている。

リッパ－ハイデ服装図書館はその名の通りリッパ－ハイデ男爵によって創立された世界唯一の服装図書館で、目録の第1巻目はその開館を記念して発行された。この目録の特色は、第一に、蔵書目録というところにある。L男爵が半生をかけて蒐集した服飾関係資料の現物に基づいて目録が作成されている。目録記述の面では、標題はありのままを正確に再現するよう、大文字で書かれてあるものはその通り同一様式で記述され、標題紙に著者・出版地・出版年が欠けている場合は可能な限り補足されている。この場合補足や省略は括弧などの記号で原文と区別されている。本の内容が標題だけでは解りにくい場合、その本の成立、歴史に関すること、典拠資料との校合、古版本や稀覯本はその本と別の残存本との照合などが挙げられ、書誌学的にもすぐれている。第二に、単に目録としてだけではなく、服装学の研究においても欠かせない文献資料である。それは目録の分類体系が示すように服装研究の歴史をふまえて構成しており、中でも重要な文献については服装学との関連が指摘されている。第三に図版が豊富であることが挙げられる。各巻とも文献の標題紙や図版を口絵300、本文挿図もほぼ同数載せている。古い文献を見る機会の少ない私たちにとっては得がたい情報源となっている。

収録点数は初版においては5064点、単行書、辞典、年鑑、図版集、定期刊行物が収録され、分類体系は以下のようになっている。(注・初版のリプリント版による)

- I 服装通史—16~19世紀 (世紀別)
- II 古代服飾—地域, 時代別
- III 中世・近世の服飾—時代, 地域別
- IV 個別服装史
- V 身分・職業服
- VI 特殊服
- VII 美学・衣服衛生・人体
- VIII 衣服法令と慣習

- IX 衣服の乱用
- X 衣服の製造
- XI 服飾工芸と家庭技芸
- XII 年鑑
- XIII 定期刊行物
- XIV 補遺
- XV 参考図書—辞典・目録など

第1巻は分類1～3 文献番号1～1641まで、第2巻は分類4～15 文献番号1642～5064までと書名著者名混排索引及び事項索引を収録。本館は初版を持ち合わせていないが、初版のリプリント版（1963年刊）と改訂版の2種類を所蔵している。初版リプリント版には、初版の5064点に増補分（分類14補遺）1905年までに出版された約270点の資料が追加されている。改訂版では、初版刊行後から1963年までに増加した資料も加えて、もとの3倍に近い12000点を収録している。分類体系も初版とはやや異なり、初版では中項目に位置づけられていた事項を引き上げて32の項目に組みかえてある。末尾には初版と改訂版の文献番号対照表、著者名書名混排索引がある。

リッパーハイデ（1838—1906）はドイツのヴィトゲンシュタイン地方のバーレベルクに生れた。印刷技術を学んだ後、1865年ライプツィヒで書籍販売業を手がけ、ベルリンにモード出版社バザール（Der Bazar）を創立、雑誌『流行界』Modenweltを刊行した。この雑誌は妻フリーダの助言、協力により新しい読者層に支持され、のちにヨーロッパ各地で海外版が刊行された。1874年には『絵入り婦人新聞』Illustrierte Frauen-zeitungを発刊した。この他、モード誌、服装図版集などの著作もあり、服装研究家としても活躍した。彼の生涯の後半は、出版業で得た財源で服飾、風俗文献や絵画、版画、肖像画、ミニアチュールなどの蒐集活動に主眼がおかれた。1896年、58才の秋、ポツダム街の自邸にこれまでの蒐集の成果をおさめた服装図書館が誕生した。2年後、コレクションはプロイセン国家に寄贈された。これら服装学発展の業績により死の前年に男爵の称号を与えられた。コレクションはその後数回にわたり移管され、戦火にもあったが資料の散逸はまぬがれた。1934年、西ベルリンの国立美術工芸博物館の管轄下に入り、現在は芸術図書館 Kunstbibliothek に併合されている。（平井）